

ふるさとひょうごコミュニティ・ビジネス1 Day 観察ツアー

淡路・丹波篠山・但馬地域でがんばるCBの最新事例現場を巡るバスツアー

11月2日(日) 但馬地域視察
一円電車あけのべ、おおやアート村、朝来市の地域自治協議会、地域おこし協力隊11月29日(土) 丹波篠山地域視察
つたの会、真南条上営農組合(サムライジーンズ)、城南ライフサポート、monoile cafe12月6日(土) 淡路地域視察
のじまスコーラ、生田村、淡路はたらくカタチ研究島

※出発地は、淡路・丹波篠山・但馬地域からとなります。

詳細は
CDCの
HPにて

新しくスタートした団体

2014年7月～2014年8月

NPO法人 生活支援の会あいかつ (宝塚市)	日常生活を送るうえで困っている高齢者や一人暮らしの方々などに、通院や買い物などの外出介助、また日常生活の家事援助や緊急時のお世話等。
NPO法人 丹のたね (丹波市)	ひきこもり・ニートまたは障がいなどにより支援を必要している家族や関係団体とネットワークを結ぶ。丹波の豊かな自然、資源を活かした中間支援団体。
NPO法人 宝塚の杜芸術倶楽部 (宝塚市)	陶芸を中心とした芸術文化各分野の更なる理解の深化とその技術の伝承と技術者育成を目指す。
一般社団法人 里山未来ラビット (篠山市)	美しい里山の景観を維持し、多様な生物生息空間を保ち、地域のコミュニティを様々な人々が交流しながら活性化する。



“お一人、お一人の気持ちに寄りそう”をモットーに個別のご相談を大切にしています。お気軽にご相談にお越し下さい。また、求人登録も隨時受付けています。HP、FAX、お電話でお申し込み下さい。

求人団体名	職種	求人条件
NPO法人 さわやか北摂	サービス提供責任者 (要介護福祉士)	・勤務地 さわやか北摂 川西市緑台3-3-39 ・アクセス 能勢電鉄(平野)から阪急バス循環(緑台3丁目下車) ・月給 月給175,000円～215,000円 ・交通費 月額上限10,000円(車、バイク通勤可) ・備考 賞与年3回支給、退職金共済加入

※求人が既に充足している場合はご了承ください



Q 生きがいしごとサポートセンター阪神北

Tel 665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1
ソリオ1・3F 宝塚NPOセンター内
TEL : 0797-87-4350 FAX : 0797-85-7799
E-mail : cdc@hnpo.net
URL : <http://cdc.hnpo.net/>
駐車場 : ソリオ1…30分 200円

「生きがいしごとサポートセンター阪神北」は、兵庫県の「コミュニティ・ビジネス等生きがいしごと支援事業」の補助を受けて、(認定)宝塚NPOセンターが実施・運営しています。この事業は、「播磨西」「播磨東」「神戸西」「神戸東」「阪神南」の6拠点にて運営されています。

発行人:牧里 每治 編集人:中山 光子

コミュニティ デザイン カフェ ニュース

CDCN

57

2014.9

特集

社会で輝く

女性の起業

第2次安倍改造内閣が日本の成長戦略の柱に据えているのが女性の活躍。
当センターからも「子育て」や「介護」、「まちづくり」等の分野で、女性ならではの視点をもった活動が多く生まれ、それぞれの地域で活躍されています。



特定非営利活動法人さわやか北摂
代表理事 久恒千里さん (川西市)

Q 今年で設立20年目という事ですが、事業を長く続けていく為の秘訣を教えて下さい。
20年前も、その後介護部門でも、NPO団体が世間に認められるのは大体3年かかりました。デイサービス設立当初は兵庫県の離陸応援事業の助成を受けることができ助かりました。長く続けていくためには、理念をもってとりくむことが必要です。わたしたちは20年前の事業開始時から今まで変わらぬ信念で取り組んでいます。

Q 信念を具体的に教えて下さい。
高齢者や障がい者、すべての人に対して「人としての尊厳」を大切にするという事です。すべての人が地域で助け合いながら、最後まで人としての喜びや優しさを感じて生ききってもらいたいと考えています。

Q 設立以来5年毎に設立記念誌を発行されていますね。その目的と効果を教えて下さい。
社会に自分達の活動をご報告していくためには、きっちり活動を団体の歴史として刻んでおく事が必要と思っています。今でも設立当初の記録を読み返し、初心と変わらぬ事や支えてくださった人々、スタッフの皆さんと共に現在がある事を再確認する事ができました。

Q 今後の取り組みを教えてください。
来年度の介護保険法の改正等で、要支援者に対する訪問介護と通所介護が給付から外れます。これからは地域レベルでもっと助け合っていく事が必要となってきます。わたしたちは地域のつどいの場として「居場所」を5年前から始め、この夏「さわやかサロン」を新たに追加しました。いつまでも高齢者が在宅で自立して生活し、介護者にも癒しの場を提供するお手伝いをさせて頂きたいと考えています。

起業した女性にインタビューしました

昨年度4月から本年度9月までに女性が中心となって、当センターから立ち上がった団体は16団体となり、実に4割近くにも上ります。毎年多くの女性がNPO等での起業を実現されています。これから起業される方は、先輩のアドバイスを参考にしましょう。

Q

1. どのような事業を行っていますか？
2. 起業のきっかけは？
3. どのようなところに「やりがい」を感じますか？



まずやることに価値があり、やり始めた目的を達成するまでやめない

NPO法人 TAKARAZUKA 都市活性プロジェクト
(宝塚市) 2012年2月設立
理事長 別役 茉莉子さん

- A1 リアル(地域に根ざしたテイクアウトカフェ)とバーチャル(宝塚のポータルサイト)を融合させた企画を立ち上げて実行しています。
A2 ITはリアルを豊かにするツールだと思っているのに、ITが一人歩きして、残したいリアルにまで侵略しているように感じる現実に違和感があったため。
A3 利益ではなく目的を追うことができる



思い切って扉を開いたところには、応援して下さる方々がいますよ

NPO法人 シェアフィールド
(宝塚市) 2013年5月設立
理事長 永井 麻子さん

- A1 昨年9月から、宝塚小学校地域児童育成会待機児童(1~3年生)のための小さな学童保育所「アミーカクラブs a k a e」を宝塚市栄町で運営しています
A2 東日本大震災後に社会的事業について学んだことがきっかけです
A3 試行錯誤を繰り返しながらですが、一つひとつの取り組みが子どもたちや保護者の方々の安心と笑顔につながっていくと実感できるところです



何がしたいのか、徹底的に考え方議論すること

NPO法人 あなたしくをサポート
(伊丹市) 2013年5月設立
代表理事 中田 香子さん

- A1 「男らしく」とか「母らしく」とか「○○○らしく」といられない「自分らしく」暮らせる社会づくりを視点として、「啓発・セミナー」「情報発信」「組織支援・人材育成」「調査・研究」「相談」事業を実施しています
A2 「伊丹市男女共同参画施策市民オブンボード」の経験者が集まり、「性差にとらわれず自分らしく生きられる社会づくり」に取り組みたい!!との思いから、NPO法人を設立。
A3 (1)メンバーやの個性を生かした事業が展開できたとき
(2)事業に対する参加者からの反応
(3)他のNPOや団体からの、連携などの呼びかけ



発信して周りの方を巻き込むことで仲間を作っていくこと

一般社団法人 UKIDS

(宝塚市) 2014年4月設立

代表理事 内田 才子さん

A1 子どもたちの自立支援事業。母子家庭の在宅ワークで製作した環境に安全な防災ライトを発展途上国に寄付しています。この事業を支援しているのが企業・個人・団体などです。社会で共に生きるサイクルを展開しています。

A2 海外で孤立した時に多くの方のサポートで成長できること、施設で慰問した時の少女の夢と目が輝いていたのを見て決断しました。

A3 在宅ワークのママたちが笑顔で応えてくれたとき、施設で育ち頑張っている子どもたちと会話をすると、エネルギーをもらえ、やりがいを感じます。

● ● ●



目標に向かって仲間と一緒に取り組めば、何事も克服できます

NPO法人 りとるめいと

(養父市) 2014年5月設立

理事長 衣川 益子さん

A1 子育て支援を行っています。子育てほっとステーション事業で親子で遊びに来る居場所、一時預かり、お父さんたちの参加も求めて月一回日曜日に「パパとあそぼ」を行っています。また、子育て応援カードを、地域の商店などの協力をいただき、子育て中の家庭に配布しています。これからは、外国人のお母さんの支援もして行きたいと思っています。

A2 子育て中のお母さんたちから、集まる場所が欲しいと声をかけられ、少しでも子育て中のストレスの解消になればと思い、お母さん達と一緒に活動を始めました。

A3 子育てを応援してくださる多くの方と出会うことができ、私たちの目ざす寄り添った子育て支援が、前向きに進んで行きつつあることにやりがいを感じます。

● ● ●



出来ない理由を並べず、「絶対にやる」と腹をくくり仲間を持つこと

NPO法人 うたじぞう

(川西市) 2014年11月認証予定

事務局長 山沢 桃子さん

A1 「三世代で楽しめる歌を提供しよう」を掲げ世代及び地域のつながりを深め、より健康に、そして美しい日本語を次世代に継承できるよう、出演者だけでなく参加者と一緒にみんなで歌う場を提供しています。

A2 高齢のため話すことが出来ないご婦人が音楽に合わせ唱歌を歌われるのを目にして、歌の必要性を感じたこと。

A3 最初は表情乏しく元気のなかった方々が、歌うことでの表情豊かに明るく活動的になられるのを目にしていました。

女性の起業・男性の起業と言う2つのカテゴリーに分け、一般論化することに違和感を感じる。そのため、地域の課題や生活の中で見つけた課題に取り組んで起業した方が、たまたま女性だったということでまとめを書きたい。起業方法に性差もなく、成功していく方法に近道も無いと考えている。地域に変化をもたらすコミュニティビジネスは、大きな事を始めるのではなく、小さな変化を楽しみながら大きく育てられるタネを日常から探し出すことから始まる。紹介させていただいた皆さん、そのタネを見つけられた。加えて、立ち上げ時から仲間を集め、自分たちが取り組むべき課題を十分話し合い、役割分担をし起業した方たちである。特別なことはなく、着実に段階を経て進められた結果が事業に現れている。起業とは難しいモノではなく、一步を踏み出す勇気と着実な歩みであることを改めて考えた。

宝塚NPOセンター 事務局長 中山 光子